

(社)日本詩人クラブ 2019年 11月 例会のご案内

日時 2019年11月9日(土) 13時30分～16時30分 会費500円(会員・会友も)

会場 板橋グリーンホール6階

詩朗読 & スピーチ 田中裕子氏 (鎌倉市) 遠藤ヒツジ氏 (大田区)

講演「30万難民の記憶 引揚詩を遺す」 講師 岡 耕秋氏

プロフィール 岡 耕秋 (おか やすあき) 氏 本名、満岡剛太郎 (みつおかこうたろう)。1933年、長崎県諫早市生れ。敗戦まで台湾で育つ。引揚後、58年長崎大医学部卒。その後、米国医師 (ECFMG) 試験に合格し米国オハイオ州トレド病院で内科レジデント。70年諫早市で内科医院開業。78年、諫早湾干拓反対運動に参加。故山下弘文氏 (ゴールドマン環境賞)、故野呂邦暢氏 (芥川賞) らと交流。85年、脳腫瘍発症し手術。失語、平衡障害など後遺症。87年、詩人の故入江昭三氏の『子午線』で詩を学び始める。95年、開業をやめ老健施設勤務や離島診療などに従事。この間、96～2017年、放送大学に在学、歴史学を専攻し白石太一郎教授のもとで修論。現在、『千年樹』誌に台湾史を記述。2000年「詩とエッセイ『千年樹』(季刊)」を創刊。既刊詩集『バウムテスト』、『もう一つの岬へ』。2017年より「引揚詩」記録の会事務局。所属、日本詩人クラブ、日本現代詩人会。趣味は園芸、特にばら園芸。

小講演(詩と語り)①「満州から引揚げ」 講師 柳生じゅん子氏

プロフィール 柳生 じゅん子 (やぎゅう じゅんこ) 氏 1942年東京生まれ。秋に中国東北部旧満州撫順へ。父は南満州鉄道勤務。1946年秋に、中国胡蘆島より舞鶴港へ引揚げ。母の出生地福岡県に住む。母の語りを作品化するために、読書や「満州研究会」、東洋大学の「舞鶴学講座」他に通った。

②「もう一つの戦争<戦後>からの出発と訣別」 講師 谷口ちかえ氏

プロフィール 谷口 ちかえ (たにぐち ちかえ) 氏 1942年、父親の転勤先の旧満洲奉天生まれ。生後10ヶ月で肺結核に罹った父親と死別。満洲から本拠地の旧朝鮮・京城へ戻り、終戦。3歳で大分県への引揚げと母親の再婚で家族離散。9歳で母の住む東京へ、満洲からの引揚げ家族と合流・入籍。「早稲田詩人会」で詩作を開始。詩集『地図のかなたへ』他、訳書にD・ウォルコットの詩劇『オデッセイ』他。

「第3回 新しい詩の声」授賞式

最優秀賞 伊藤風菜「最果ての漁師」

中田野絵美「窓の外の反逆」

優秀賞 加勢健一「うその花束」

君嶋復活祭「君が人間じゃなければよかった」

* 例会終了後交流会

16時30分～18時30分

イタリアンレストラン パドマ

板橋区大山東町16-5
TEL 050-5282-7116

会費3,000円

グリーンホール

〒173-0015 東京都板橋区栄町36-1
TEL 03-3579-2221

東武東上線「大山」駅北口から徒歩約5分
都営三田線「板橋区役所前」駅A3出口から徒歩約5分



例会担当理事 谷口典子